

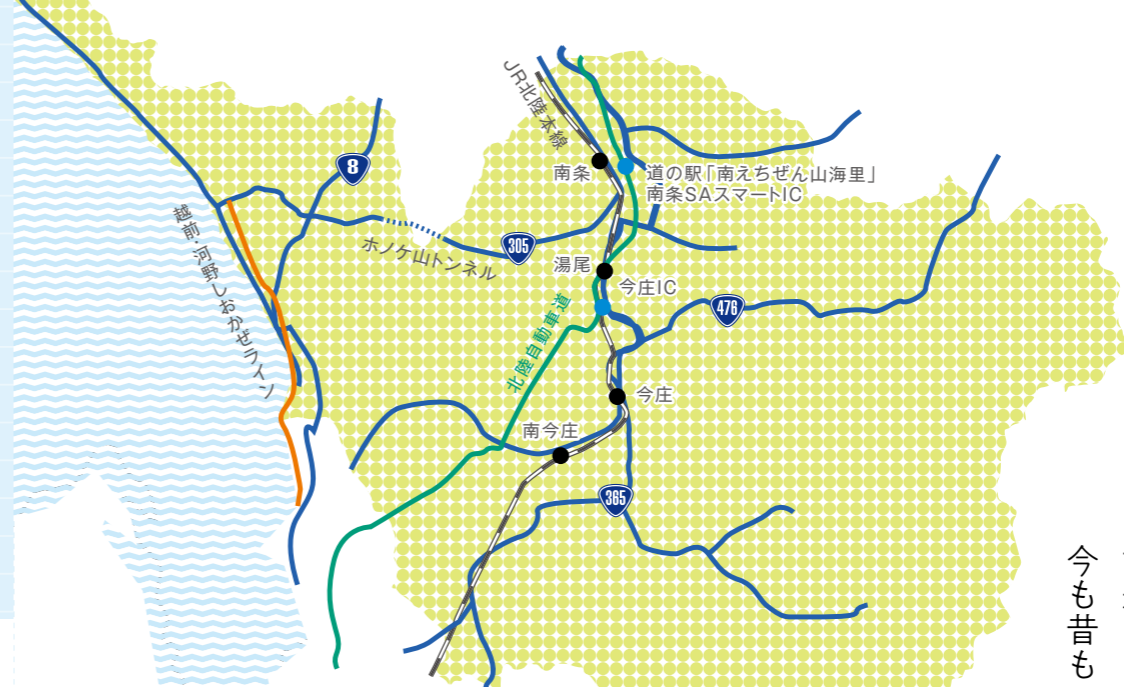
道の駅「南えちぜん山海里」

ヒト、モノ、文化が行き交う エンターテイメント型の道の駅

道の駅「南えちぜん山海里」は、北陸自動車道で福井県内唯一のサービスエリアである南条サービスエリアに隣接し、高速道路からも一般道路からも利用できる道の駅として令和3年10月にオープンしました。

南条スマートインターチェンジにも隣接し、高速道路や国道365号など主要幹線道路の結節地に位置することから、交通の利便性が高く、道路利用者の休憩場所や周辺観光施設の起点的な役割を担い、南越前町及び福井県の玄関口として地域への誘導を図る観光拠点となっています。また、地元農林水産物や特産品を販売し、この地域ならではの食を提供することで、地域の魅力を全国に発信しています。

屋内には親子で楽しめるキッズルーム、屋外にはロング滑り台でつながる公園も整備され、公園一体のエンターテイメント型道の駅として子どもから大人まで楽しめる賑わい創出の交流拠点施設です。



まちと人を ひとつに結ぶ道

古来より交通の要衝南越前町
今も昔もこれからも

道路は、北陸自動車道や国道8号、国道365号といった北陸地方と関西・中京方面を結ぶ動脈となる道路が町の南北を縦走し、北陸自動車道今庄インターチェンジ、南条スマートインターチェンジおよび南条サービスエリアが設置されており、周辺地域への広域高速交通の利便性が確保されています。

福井県の嶺北地域と嶺南地域を結ぶ国道476号は、本町と敦賀市にまたがる木ノ芽峠トンネルが平成16年3月に開通したことにより、嶺南地域との交通の利便性が飛躍的に向上しました。さらに、平成26年7月に全線開通した舞鶴若狭自動車道による関西方面との交流が活発化しています。

国道305号は、合併後の町の最重要施策であったホノケ山トンネルが平成25年11月に開通したことにより、町内の道路ネットワークが向上し、北陸自動車道今庄インター

チェンジや南条スマートインターチェンジと越前海岸とのアクセスが飛躍的に向上しました。ホノケ山トンネルの開通は、地域間の連携をさらに深めるとともに、観光、産業の振興、さらに地域防災、行政運営等さまざまな面において大きな役割を果たしています。

また、越前加賀海岸国定公園に指定されている海岸線に沿って、主に観光道路として利用されている越前・河野しおかぜラインが、国道305号や県道大谷杉津線と連絡し、敦賀市との間を結んでいます。

